

寛政丸航海誌 第3号 2022

寛政丸

こ
あ
い
さ
つ

皆様には、日頃からやしま浩久の議員活動に温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

令和3(2021)年も、新型コロナウイルス感染症の影響で政治、経済、生活は大変混沌とした状況でした。一方で、NBA 八村塁選手や大リーグ 大谷翔平選手の大活躍、そして1年遅れたものの東京オリンピック・パラリンピック2020が無事開催され、日本人選手団の活躍に勇気と感動を与えてもらうといった明るい話題もございました。

全国的にワクチン接種が進み、第5波は落ち着きを見せましたが、令和4(2022)年からオミクロン株の影響による第6波が、またもや我々の生活に不確実性・不安感を与えています。

前回の航海誌では、コロナ禍の変化(2極化)が、どちらか片方でなく同時に進んでいるとお伝えしたのですが、例えば都市の暮らしと地方の暮らしなどは、一人一人の世界観の違いが明らかになったと思います。便利で暮らしやすく、仕事は自己実現が目的という都市型の価値観を持った層(個)と、それに対し、仕事は生活のための目的であり、地元に着いて地元の衰退に心を痛めコミュニティを大切にしている層(公)。どちらが正解というわけではありませんが、私としてはまだまだ都市型のトレンドが強く、この2極化はバランスが悪い状況であると考えています。災害リスクの分散も含め、本年も地方を重視し、真の地方創成を訴えることで、少しでもバランスの良い調和型社会の実現を叶えたいと願っています。

令和3(2021)年度に入り、常任委員会では県土整備農林水産委員会の所属となつて副委員長を拝命し、また特別委員会においても感染症等対策特別委員会の所属となりました。新田県政とは1年3ヶ月のお付き合いとなりました。令和4(2022)年の年始にあたり、令和3(2021)年、1年間の議会活動を取りまとめ、県政の報告をさせていただきましたので、是非ご一読いただけると幸いです。

あらゆる分野で様々な県政課題があるわけですが、少しでも県民の方々にわかりやすく、県議会のオープン化を心がけてまいります。航海は生き物、いつも順風満帆とはいきませんが、新しいことへの挑戦を怠らず、航海をしてまいります。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸、併せて令和4(2022)年が良い1年になりますことを心から願ひまして、発刊のご挨拶と致します。

令和4年2月

やしま 浩久

2月 定例会 (予算特別委員会)

「個人と公共の調和型社会の実現」のための
『地域ふるさとビジョン』より

>>

〔質問〕 令和3年度当初予算案の特徴は？

〈滝経営管理部長〉 コロナ関連予算を除くと、約 5,700 億円となり、令和 2 年度当初予算とほぼ横ばいとなっている。富山八策と八十八の具体策の実現に向けた事業を盛り込んだことが最大の特徴。現場の視点やアイデアを生かし、迅速果敢に課題に対応するための「サンドボックス枠」を新たに設けたことも特徴の一つとなっている。

〔質問〕 スクラップ・アンド・ビルドと言っているが、スクラップの見える化がほとんどされていない。当初予算編成にあたり、どのような視点で事業見直しを行ったのか？



〈新田知事〉 大幅な減収が見込まれる中での予算編成であり、各部局に対して既存事業の効果や必要性等、ゼロベースで見直すよう要請した。全体で 602 件の事業を見直しした中、22 件の事業・見直し額を公表したが、見直し額の大きな主だったものという意味で見える化をした。

〔質問〕 富山の「くすり」や「アルミ」のコンソーシアム事業を、今後の成長戦略事業として展開することを期待するが、どのように取り組むのか？

〈新田知事〉 「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアムでは、将来の自走化に向けて様々なテーマを組み替えながら、引き続き産学官の連携の下、早期事業化を目指す。「とやまアルミコンソーシアム」においても、研究開発プロジェクトの事業化や人材育成に引き続き取り組む。また、アルミ関連産業の規制緩和に向けた取組としてアルミサンドボックス事業を実施する。



〔質問〕 内川、新堀川の不法係留船は大幅に減少したが、いまだに残る放置物（タイヤ・ロープ等）の片づけについての取組は？

〈江幡土木部長〉 まだ残っている不法係留船については、令和 3 年 6 月頃を目途に行政代執行を行い撤去する。古タイヤ等の所有者不明の放置物は順次撤去してまいりたい。

〔質問〕 コロナ禍での実績も踏まえて、新湊マリーナを今後どのように活用していくか？

〈中谷観光・交通振興局長〉 不法係留対策によって、新湊マリーナに係留する船舶の数は 1 年間で 32 隻増加している。平成 29 年度からはレンタルボートの事業を実施しており、好評を得ている。密にならない屋外型レジャーの人気も相まって、県外のお客様に新湊マリーナや富山湾の魅力がより伝わるように PR してまいりたい。



たくさんの船が停泊する新湊マリーナ

〔質問〕 富山新港にて更新設置されるガントリークレーンの、完成までの予定と更新により期待される効果は？

〈江幡土木部長〉 令和 5 年度までの完成を予定しており、効果としては荷役効率の向上や安定した荷役作業による信頼性の向上等の理由から、伏木富山港の従前以上の利用促進が期待される。

〔質問〕 新湊大橋あいの風プロムナードの窓の汚れが目立ってきているとの指摘があるが、その対応は？

〈江幡土木部長〉 令和 3 年度の早い時期に窓清掃を実施する予定。今後も適切な維持管理に努める。



あいの風プロムナード内

⇒ 令和 3 年 4 月 26 日～30 日にかけて実施された。

〔質問〕 除雪オペレーター確保のために、除雪共同企業体との契約において、最低保証制度の導入はできないのか？

〈江幡土木部長〉 最低保証制度は、全国で令和 2 年度現在 5 道県で導入されているが、富山県では導入していない。県としては、これまで稼働の有無にかかわらず税金や保険料といった固定費を支払ってきている。一方、国では有識者会議において、小雪時における固定的経費の積算の在り方といった議論が行われたが、県としてはそのような議論の行方を注視しながら、安定的な除雪体制が維持できるよう努める。

〔質問〕 大雪時における万葉線への支援体制は？

〈中谷観光・交通振興局長〉 各関連団体と連携を強化し、除雪車両や消融雪設備等の更新、充実に努める。また、新年度予算では公共交通事業者への支援、高岡市・射水市と連携した支援を盛り込んでおり、引き続き国庫補助制度も活用して、安全な運行が確保されるよう取り組む。



(出典：富山県立大学ホームページ)

〔質問〕富山県立大学の「(仮称)DX教育研究センター」整備に至る狙いや背景は？

〔蔵堀政策監〕DXはこれまで抱えてきた課題解決や今後の経済成長に資するものと認識しているが、単に新技術を導入するのではなく、DXを担う人材育成とDX分野の研究教育が必要である。このセンターでは、①教育や研究・実験に必要なスペースを確保し、②県内企業や研究機関との共同研究に利用できるスペースも備え、DXの研究と教育の中心施設として、産学官の連携拠点となることを狙いとしている。

〔質問〕令和3年度の当初予算案に太閤山ランドの調査事業が計上されているが、予算化に至る経緯や狙い、今後の展開はどのように考えるか？

〔柿沢総合政策局長〕県では太閤山ランドが、既存施設の魅力を生かしつつ、最先端のデジタル技術の活用により新たな魅力を創出し、子供から大人までわくわくするような施設となることを目指している。まずは全国の先進的な事例の調査や魅力向上策の検討といった費用を予算に計上した。

〔質問〕下村の「やんさんま」を国の指定文化財に、海老江・大門の曳山を県の文化財指定を受けるべく、地元関係者から要望が寄せられているが、県の見解は？

〔伍嶋教育長〕「やんさんま」の国指定に向けては、まず射水市が沿革や形態の詳細な調査を行い、我が国の生活文化史における歴史的・文化的価値を解明する必要がある。海老江・大門の曳山に関しても、県内各地に伝承される曳山行事との比較分析を行い、他の曳山には見られない典型的な特色や文化的価値を導き出す必要があり、その結果を踏まえて助言や支援をしてまいりたい。

〔質問〕「とやまビューポイント」の選定経過と結果は？また、今後どのようにPRしていくのか？

〔江幡土木部長〕平成14年に富山県景観条例を定め、県内の優れた景観を眺望できる30地点を眺望点に指定し、令和元年度より追加公募を行ったところ275件の応募があった。現地調査の上、審査を行い、景観審議会において30地点を新たに加え、全部で60地点が指定場所となった。現地での銘板の設置、県のホームページ、観光季刊誌等の活用によって、県内外に広くPRを行い、観光客の増加につながるよう努めたい。

〔質問〕国のSDGs未来都市に選定されている本県が、県民総参加でSDGsを促進するための取組は？

〔柿沢総合政策局長〕県民のSDGsに対する認知度は35%程度と低く、まずは普及啓発に注力したい。SDGsに取り組む企業・団体等からSDGs宣言を募集するとともに、県内各地でのワークショップの開催やセミナー開催の支援を行う。併せて、カーボンリサイクル等の取組を推進するとやま版グリーンイノベーション推進事業を官民連携して取り組みたい。

〔質問〕eスポーツイベント支援事業の実績と、全国マスタースeスポーツ大会(仮称)の今後の取組は？

〔滝経営管理部長〕令和2年度は4つの市町で9つのeスポーツのイベントを支援し、各地域の特色も生かしながら開催された。全国マスタースeスポーツ大会では、60歳以上の方を対象とし、認知症の予防にも一定の効果があると考えられる複数のゲームにおいて、決勝大会を県内で開催する方向。令和3年度当初予算案にも開催経費を計上しており、先進的な取組を全国にアピールしてまいりたい。

⇒ eスポーツはコロナ禍の状況においても開催できる、非接触型の事業ということで注目を浴びている。

〔質問〕eスポーツイベントでは当初、インバウンドの需要も見込んでeスポーツ海外誘客促進事業が予算化されていたが、コロナ禍の影響で中止となった。次の展開はどのように考えているか？

〔滝経営管理部長〕状況が許せば、今後県内で開催されるeスポーツ関連のイベントを通じて、海外との連携を積極的に進め、誘客促進や航空便の搭乗率向上等につなげたい。

〔質問〕eスポーツを活用した介護予防を促進すべきと考えるが、見解は？

〔石黒厚生部長〕今年度モデル的に、eスポーツ体験による高齢者の社会参加を促進した介護予防活動に、県立大学との共同研究として取り組んだ。令和3年度も、eスポーツ体験会の実施会場を増やすとともに、高齢者の参加促進、多世代の交流による介護予防活動の推進に取り組みきたい。

教えて！

県政用語

サンドボックス枠予算

現場の視点やアイデアを生かして新たな課題に迅速・果敢に対応するため、令和3年度から富山県で初めて導入された予算。各部署長の裁量で使える1,000万円を上限に施策が試行できる。

DX デジタルトランスフォーメーション

デジタルトランスフォーメーション(DX)とは「デジタルによる改革」を意味し、経済産業省では「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義している。

9月定例会(一般質問)

「個人と公共の調和型社会の実現」のための
『地域ふるさとビジョン』より

>>

〔質問〕令和3年度の税収をどのように見込み、県の財政運営に対してどのような方針を立てているか？

〔新田知事〕当初の予算額は確保できる見通しだが、依然として様々な業種で苦戦を強いられており、感染再拡大による下振れリスクや製造業における材料不足による景況悪化の懸念は引き続き残る。県の財政運営としては、医療提供体制と感染拡大防止策に最大限注力し、アフターコロナやビヨンドコロナを見据えた成長戦略を推進する一方で、歳出構造を見直し、国に対しても財源の確保を強く働きかけてまいりたい。

〔質問〕内川の高潮被害の未然防止や冠水が起こった際の早期対処についてどのように取り組むか？

〔江幡土木部長〕内川から排水溝への逆流を防止するフラップゲートの設置や排水ポンプの能力アップ等、ハード・ソフト両面から具体策を検討する。万が一、冠水が起こった際の対処としては、車両通行止めや迂回路への誘導等の対応を早期に実施し、安全確保に取り組む。



実際に冠水が起こった箇所(射水市二の丸町 地内)

人生100年時代を見据えた

『豊かな暮らしビジョン』より

>>

〔質問〕総合防災訓練は住民主体の訓練を実施する必要があると考えるが、知事の所見は？

〔新田知事〕総合防災訓練は、今年は8月1日に県内4市町村で緊急支援物資の輸送訓練や地震を想定したシェイクアウト訓練等を官民連携して実施した。今後も地域住民が自らどう行動すべきなのか考えながら参加し、その成果がより実効性の高いものになるよう、市町村・防災関係機関と連携して取り組んでまいりたい。

〔質問〕災害時の安否不明者の氏名公表についてどう考えるか？

〔新田知事〕静岡県熱海市の土石流災害の事例では、連絡が

取れない住民の氏名を公表することでより多くの情報が寄せられ、救助や捜索活動にプラスに働いたと言われている。人権やプライバシーに配慮する必要はあるが、ガイドラインを整理し、人命最優先を基本として速やかな捜索や救助活動ができるように備えたい。

〔質問〕防災訓練や防災対策は、戦略を持って経験やノウハウを積み上げていくべきと考えるが、副知事の所見は？

〔蔵堀副知事〕毎年開催している県の総合防災訓練では過去の成果や反省点を踏まえて、より実践的な訓練となるように訓練項目を毎年見直して実施している。今年の訓練では、自衛隊と警察との連携・情報共有やコロナ禍における避難所の開設・運営をテーマに訓練した。その他にもSNSでの発信情報をAI解析によって、信憑性の高い災害情報を収集する訓練も新しい取組として行っている。訓練でできないことは本番ではできないと言われているので、毎年度の施策見直しや経験・ノウハウの積み上げ、予算確保にしっかり取り組みたい。



蔵堀副知事の答弁

〔質問〕水害と地震災害では避難行動が異なり、その違いを住民に認識してもらうことが重要と考えるが所見は？

〔利川危機管理局長〕水害と地震災害では、避難に必要な猶予時間(リードタイム)が異なるので、その点を住民の皆様にも認識してもらう必要がある。県では「マイ・タイムライン」作成シートを作り、避難行動を自分自身で時系列に沿って整理し認識してもらうことを訓練でも周知している。災害に応じた適切な判断や行動を住民自らが自主的に取れるよう、啓発や訓練の実施に努めたい。



「マイ・タイムライン」作成シートの一例

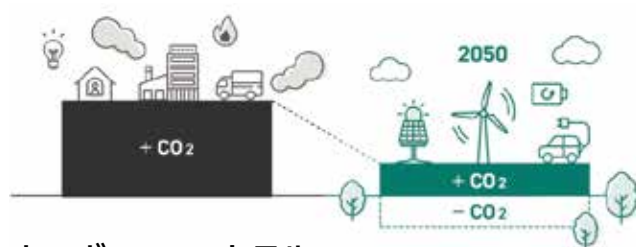
(出典：富山県ホームページ)

教えて!

県政用語

ウェルビーイング (well-being)

身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、富山県では、収入や健康といった外形的な価値だけでなく、社会的な立場、周囲の人間関係や地域社会とのつながりなども含めて、県民が自分らしく生き生きと生きられること、主観的な幸福度を重視した「真の幸せ」(ウェルビーイング)を追求することを目指している。



カーボンニュートラル

(出典：環境省ホームページ)

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味し、日本語では炭素中立という。政府は2050年までに、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを目指している。

【質問】 中学生への災害教育の推進について、どう考えるか？

〈荻布教育長〉 学校での防災教育では、命を守る行動ができる能力の育成に努めているが、県教育委員会としては、防災教育指導者を対象とする講習会を開催し、教員の指導力向上を図るとともに、児童生徒自らの災害対応能力向上のために市町村教育委員会と連携して防災教育の推進に取り組む。

【質問】 小学校3年生・4年生に焦点を当てて、特に基礎学力の定着を重視すべきと考えるが、教育長の所見は？

〈荻布教育長〉 小学校3年生からは学習内容が高度化し、学習の定着にも個人差が見え始める時期であり、習熟度別学習やチームティーチング等の指導を行っている。令和3年度から、国に2年先駆けて3・4年生の少人数学級を導入したり、教員の指導力向上を目指した研修を行ったりしている。今後も教職員定数の充実に努め、誰一人取り残さない教育の実現に取り組んでまいりたい。



女性初の教育長
荻布 佳子さん

【質問】 新型コロナウイルス感染症対策として、無症状感染者でも原則として食事付き宿泊施設で療養してもらう方が良いのではないかと？

〈木内厚生部長〉 患者本人や同居家族の状況、家庭の事情を精査して、宿泊療養施設または自宅療養かを個別に判断している。一方、一人暮らしや家族への感染を防ぐことが難しい場合には極力、宿泊療養施設で療養してもらう方が確実であるため、新たに宿泊療養施設を開設しており、必要経費を9月の補正予算案に計上した。

「国際化」のための『産業ビジョン』より >>

【質問】 県内でサプライチェーンを再構築し安定生産につなげたいという県内地元企業への支援策は？

〈布野商工労働部長〉 新型コロナにより様々な物資供給の安定性が脅かされる中、国では令和2年度補正予算にサプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金が創設された。県では、この支援の継続を要望するとともに、主に製造業を対象に、生産拠点の県内回帰を行う企業に対して交付要件の緩和を行い、新增設や機械設備等を導入する県内中小事業者には資金面での支援を行う。

【質問】 富山湾岸サイクリングコースがナショナルサイクルルートに指定されたが、7月にルートの変更を含んだサイクリング環境の向上に関する要望書が提出されている。今後、ルート変更の手続き方法やコースの維持管理等の整備について、どのように取り組むか？

〈江幡土木部長〉 ルートの変更や追加を行う場合は、国土交通省の自転車活用推進本部との協議が必要であり、関係者の意見を伺い検討したい。また、コースの維持管理については、来訪者が安全・安心にサイクリングを楽しんでいただけるよう、

9月の補正予算案に必要な経費を計上し、路面清掃・樹木の剪定・防護柵の修繕等、走行環境の向上に努めたい。

【質問】 ナショナルサイクルについて、アフター・ビヨンドコロナに向けて、観光面からは今後どのように取り組むか？

〈助野地方創生局長〉 これまで、サイクリスト向けのサービスを提供するサイクルステーションやサイクルカフェの整備、ポータルサイトによる情報発信に努めてきた。令和3年3月には公式ウェブサイト「とやまサイクルナビ」を開設したほか、「サイクリストに優しい宿」の認定制度を創設する等、受け入れ環境の充実に取り組んでいる。アフターコロナの観光振興や地域活性化につながるよう、引き続きおもてなし力の向上や情報発信の強化に努めたい。



(出典：国土交通省ホームページ)

【質問】 SDGsの観点から、本県農業の発展と環境負荷の軽減を両立し、とりわけ環境に負荷の少ない肥料の利用が課題であるが、早々の方針や取組について所見は？

〈横田副知事〉 県では、従来のプラスチック被膜肥料よりも被膜の殻の崩壊が早く、圃場から流出しにくい肥料への切替えを推進しており、水稲では6割、大麦では7割程度で切替えが実施されている。また、既に圃場に存在する殻が河川や海になるべく流出しないよう、農業者へ働きかけや注意喚起を行っている。この秋に硫黄被膜肥料での実証を行う予定だが、富山県固有ではなく全国的な問題であるため、他県での対策・研究の情報も収集して、対策を行ってまいりたい。



女性初の副知事
横田 美香さん



11月 定例会 (予算特別委員会)

「個人と公共の調和型社会の実現」のための
『地域ふるさとビジョン』より



〔質問〕大雪の際に予防的通行止めを実施する場合、NEXCO 中日本に実施可否の判断を委ねるのではなく、県としても必要な働きかけを行うべきでは？

〔新田知事〕令和3年1月の大雪以来、NEXCO 中日本では「人命を最優先に、幹線道路上での大規模な車両滞留を徹底的に回避する」方針が示された。特に高速道路では避難場所が限られることから、予防的通行止めの措置はやむを得ないものとする。県としては、予防的通行止めの適期実施や短期間の集中除雪で早期に通行再開できるよう働きかける。

(画像：国土交通省)



大雪により大規模な渋滞が発生

〔質問〕大雪により万葉線は令和3年1月8～12日まで全線運休を強いられましたが、長期運休を回避するための除雪対策支援の充実を検討すべきでは？

〔助野地方創生局長〕軌道の除雪は、道路管理者等との連携により運休期間を最小限にとどめる方針としているほか、令和3年2月補正予算に除雪車の修理や諸費用を計上し、高岡市・射水市とともに支援を行った。また、現場の声として、軌道敷地内に車が進入すると圧雪の原因にもなることから、軌道沿いの道路除雪を優先してほしい旨の要望があり、道路管理者と情報を共有した。今年度の富山県道路除雪計画では、状況に応じて日中の除雪を実施することも盛り込まれており、万葉線沿い道路も一部その対象となっている。

〔質問〕令和4年度予算編成方針について、予算の「見える化」にも取組を進めるべきでは？

〔岡本経営管理部長〕県民に対し、分かりやすく予算の説明を行い、予算の「見える化」を図ることは大変重要と考える。新年度予算案において、予算の特徴や見直した内容・理由についても併せて公表し、県民に分かりやすいように示してまいりたい。

人生100年時代を見据えた

『豊かな暮らしビジョン』より



〔質問〕市町村の災害時の受援計画策定を促進するためにどのように取り組むか？

〔利川危機管理局長〕大規模災害時には、被災自治体において人的・物的支援を速やかに受け入れる体制を整備しておくことが重要である。そのため県では、受け入れ物資の調整や避難所への輸送手配等がスムーズに行えるよう物資拠点活用訓練を実施している。受援計画策定については、県内4市町が策定済み、11市町村が令和3年度中に策定・着手予定となっており、未策定の市町村の進捗状況を注視し、早期策定の促進にきめ細やかに対応してまいりたい。

〔質問〕昨今、防災訓練がイベント的な催しになっていないか懸念しているが、地域住民主体の県総合防災訓練のあり方について、知事の所見は？

〔新田知事〕県総合防災訓練は、災害時の対応手順の確認や連携強化に重きを置いており、参加機関は災害対策基本法に定められた役割に沿って訓練を実施している。訓練終了後に今後の防災訓練のあり方について意見を聞いたところ、県は関係機関との総合調整に注力し、市町村は地域住民が主体となる避難訓練に重きを置くべきとの意見も寄せられた。今度の防災訓練では、直近の災害傾向や事例を踏まえて、より実効性の高い訓練となるよう努めてまいりたい。

〔質問〕富山県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化について、どのように取り組むか？

〔木内厚生部長〕県では、避難生活における高齢者（障がい者、妊産婦、乳幼児を含む）の要介護度の重固化等の二次被害防止のため、災害派遣福祉チーム（DWAT）を組織し、福祉関係団体と連携した派遣体制を構築している。令和3年2月現在89名がチーム員に登録されているが、今後は職種バランスも勘案して150名以上の登録を目指し、多様な福祉ニーズへの応用的な対応を図るとともに、県民への周知に努めたい。

〔質問〕介護施設・事業所において、実効性のある業務継続計画（BCP）策定促進のため、支援が必要と考えるが所見は？

注）令和3年度の報酬改定で、感染症や災害が発生した場合でも必要な福祉サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、全ての介護施設・事業所を対象に、業務継続計画（BCP）の策定が義務付けられた。

〔木内厚生部長〕国からの支援として、BCP策定に向けてポイントをまとめたガイドライン等の提示や研修動画がHPで公開されている。県でも、研修会の実施や県職員の講師派遣を通して支援を行っており、今後も実効性のあるBCP策定が促進されるよう支援を継続する。

〔質問〕防犯上の指針に犯罪機会論を取り入れた趣旨は？

〔出来田生活環境文化部長〕犯罪は「動機」だけでは即実行されることは少なく、「動機」と共に「機会（チャンス）」があって初めて実行されるものである。犯罪機会論は、犯罪の「機会」をなくすことで犯行を諦めさせ、犯罪を未然に防止するという考え方である。県では、令和2年9月に「防犯上の指針」を改定したが、この理論を取り入れることで、県民に対して犯罪防止に向けた自発的な対策を促し、防犯意識を高め、安全・安心に暮らすことができる社会の実現に寄与することが期待される。

〔質問〕ホットスポット・パトロール実践講習の成果と期待される効果、今後の取組方針は？

〔出来田生活環境文化部長〕「ホットスポット・パトロール」は、犯罪が起きやすい場所を重点的に見回ることにより、少人数・短時間でも犯罪防止効果が期待される手法である。県では出前講座や実践講習会で、グーグル地図アプリを活用した犯罪の起きやすい場所の見極め方や実際に現場に訪れている目線からのホットスポット診断等の研修を行い、啓発・浸透を図っている。この手法は犯罪抑止効果に加え、パトロール隊員の高

高齢・なり手不足の解消や県民の防犯意識の醸成にもつながるものと期待しており、引き続き普及啓発に努めてまいりたい。



(出典：富山県ホームページ)

〔質問〕子ども目線の「虫の目」による「地域安全マップ」の作成状況と、今後の取組は？

〔荻布教育長〕各市町村教育委員会や校長会を通じて小学校での取組を依頼しているが、コロナ禍の影響により昨年度は取り組むことができなかった。今年度は専門講師による講習会を開催し、教員やPTA、地域の防犯関係者にも参加してもらってクイズ形式で犯罪機会論について学んだり、タブレット端末を利用して危険箇所をデジタルマップに落とし込んだりしてマップ作りに取り組んだ事例もあった。県教育委員会としては、マップ作りの意義や手法の周知を行い、各学校で地域安全マップが作成されるよう働きかけたい。

「国際化」のための『産業ビジョン』より >>

〔質問〕本県に移住した起業家に対する支援を充実すべきと考えるがどのように取り組むか？

〔三牧知事政策局長〕移住者による起業は、富山県成長戦略の目指している姿そのものである。県としては、

- ・起業講座「とやまスタートアッププログラム in 東京」の開催
- ・スタートアッププログラム対象者の居住地要件を首都圏から全国に拡大
- ・起業支援金・移住支援金等による資金面の支援
- ・起業家ネットワークの構築や県広報によるPR等の支援

等の取組を行ってきた。今後は、「創業支援センター及び創業・移住促進住宅」を開所し、全国的にも珍しい「職住一体」の特徴を生かした支援をより充実させるとともに、地域の活性化にもつながるよう取り組みたい。

〔質問〕移住のきっかけづくりのために、大学のゼミ合宿やサークル合宿の誘致を推進してはどうか？

〔助野地方創生局長〕学生の合宿誘致の推進は、交流人口の拡大や将来的な移住、関係人口の創出が期待できる重要な取組だと考える。県では、平成21年度から学生の合宿に対して助成を行ってきたが、対象を中高一貫校まで広げ、3連泊以上、延べ50人泊以上等に助成要件を緩和し見直したところ、参加人数や延べ宿泊者数で増加が見られ、一定の成果が出ている。助成要件の見直しは現時点では必要性が低いと考えるが、より利用しやすい制度となるよう引き続き検討してまいりたい。

〔質問〕市町村と連携して空き家・空き店舗を活用した移住促進を強化すべきでは？

〔助野地方創生局長〕空き家の活用については、①県のHPで空き家バンクのサイトを掲載、②空き家を活用した宿泊・体験施設等の整備支援、③移住者対象の空き家改修支援を行っているほか、令和3年度は④県外からの移住者向け賃貸住宅への改修支援（射水市）を行った。空き店舗の活用については、①UIターン者の開業を促進する物件の改修支援、②空き店舗を活用した商店街活性化事業への支援を市町村とともにに行った。移住検討者にとって、「住居」や「就労環境」が移住先を選ぶ条件として重要であるため、県では引き続き市町村と連携して移住促進施策に積極的に取り組んでまいりたい。

〔質問〕新型コロナワクチンの3回目追加接種に当たって、県内在住外国人の接種率を高めるための今後の取組は？

〔木内厚生部長〕国では、これまでの接種で7言語に対応したコールセンターを設置し、HP上に説明・留意事項を17カ国語に翻訳して掲載する等、外国人の方に対する確に情報提供を行っている。また県では、特設会場に会場した外国人のために、ポケット（通話機）を導入して、スムーズな誘導に努めている。ワクチンの3回目接種は、感染拡大防止や重症化予防の観点から非常に重要であるため、県内在住外国人に対しても接種が円滑に進むよう市町村と連携してまいりたい。

〔質問〕「天然のいけす富山湾」の海の幸を海がない県にPRする等、富山県の強みを生かした観光戦略が重要と考えるがどのように取り組むか？

〔新田知事〕ベニズワイガニ、ブリ、シロエビ、ホタルイカといった富山湾の海の幸は「富山のさかな」として本県の重要な観光資源の一つである。とりわけ海がない県に向けた「富山のさかな」のPRは大変効果的であり、今後長野県内の地域情報誌で富山湾の海の幸を紹介することとしているほか、近隣県からのマイクロツーリズムの推進施策を現在検討中であり、その結果も踏まえて、岐阜県でのPRも検討してまいりたい。

〔質問〕令和4年に開園30周年を迎える海王丸パークをはじめとする射水ベイエリアの周辺整備や有効利用に対する取組は？

〔蔵堀副知事〕海王丸パークにおいては、老朽化した施設の更新や緑地整備、イベント開催等による魅力向上に努めているほか、サイクリスト向けの取組としてサイクルステーションのバイクラックを更新した。新湊マリーナやその周辺においては、夜間ライトアップやレストラン誘致に取り組んできたほか、インスタ映えを狙ったフォトスポットの整備を予定している。また、駐車場不足の解消のため、マリーナ周辺の未利用地の活用を検討している。



常任委員会での質問

常任委員会とは…

県議会には、議員全員が参加して議会の最終決定を行う「本議会」と本議会の議論を踏まえて予算を審査する「予算特別委員会」のほかに、県政の諸問題を専門的に調査・審査する「常任委員会」が設置されています。

議員は、分野別の5つの常任委員会のいずれかに所属し、議員の質疑に対して課長級の県職員から応答を得ます。

3月 定例会 常任委員会 (経営企画委員会)

高病原性鳥インフルエンザの防疫作業従事職員のフォロー対策について

〈八嶋〉高病原性鳥インフルエンザ対策の鶏の殺処分は精神的にも負荷が高く、非常にストレスのかかる作業だと思われる。このような作業に従事する方に対するメンタルヘルスマネジメントとしてどのような対策を取っているか。

〈牧野人事課長〉県職員全般に対する通常のメンタルヘルスケアのほか、防疫作業従事職員には厚生部において特別の対策を行っている。毎日の健康状態を把握するほか、実際に殺処分を実施した職員に対しては心的外傷後ストレス障害等の症状がないか健康状態の確認を行い、症状がみられる場合は厚生センターや健康課へ相談するよう周知している。

コロナ禍での県立大学への志願者について

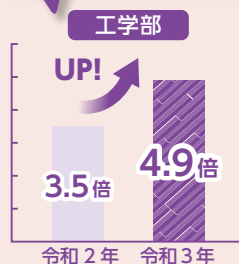
〈八嶋〉将来的に県内企業への就職や地域人口の増加にもつながると思われるが、コロナ禍の影響も踏まえて県内・他県からの県立大学への入学志願者の状況は。

〈朝倉企画調整室課長〉令和3年一般選抜の志願者数

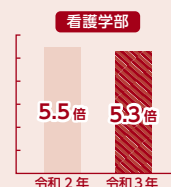
・工学部	募集人員	255名	志願者数	1,259名
・看護学部	募集人員	72名	志願者数	380名

志願者の状況に対するコロナ禍の影響は一概には言えないが、全国的には都市部への進学よりも地元志向が強まっている傾向が見られ、富山県立大学においても同様の傾向が見られる。

コロナ状況下での地元志向を反映してか志願者が増加



ほぼ横ばいながら高い倍率を維持しており、人気の高さが見て取れる。



【県立大学 志願倍率の推移】

私立大学への支援について

〈八嶋〉学生の国公立志向や県外進出・一人暮らしへの憧れ、少子化の影響等により、地方の私立大学は学生確保に非常に苦勞していると聞く。令和3年4月の県の組織改編により、総合政策局企画調整室から経営管理部学術振興課に担当が変更となるが、県内の私立大学への支援は今後どのように取り組む予定か。

〈朝倉企画調整室課長〉施設整備への支援や寄附講義（公開講座やシンポジウム）の実施支援を行っているほか、大学間の履修単位の相互互換、合同企業訪問、学生による地域フィールドワーク研究に対する助成等、様々な形で支援を行っている。組織改編により担当が変更となるが、引き続き若者の人材確保・県内定着を図るため、高等教育の振興に取り組む。

富山マラソンについて

〈八嶋〉マラソンのコース設定に当たり、地元の要望を吸い上げるような住民参加型のコースづくりを提案する。どのような手続きが必要か。

〈米山スポーツ振興課長〉まずは共催する地元自治体に要望を上げてもらい、参加者や周辺住民相互の安全面や緊急時の対策・対応等を検討する必要がある。問題がない場合、県実行委員会事務局が関係諸機関と協議・検討して機関決定するという運び。

〈八嶋〉コース変更の要望時期はいつ頃が目途か。

〈米山スポーツ振興課長〉コースの公認期間は5年間であり、昨年更新手続きをしたため2025年までは現在のコースが公認されていることになる。

〈八嶋〉富山マラソンではどのようなコロナ対策が取られているか。

〈米山スポーツ振興課長〉

- ・フルマラソンの定員を3,000人減らして1万人に変更
- ・スタートブロックの拡充
- ・ウェーブスタート（2段階でのスタート）の実施
- ・ソーシャルディスタンスを確保した会場計画やゾーニング
- ・体調管理チェックシートの確認と検温の実施（検温済みの方にはリストバンドで識別化）
- ランナー、ボランティアをはじめ、大会に関わる全ての方が安心・安全に大会に参加できるよう準備を進める。



(富山マラソン 2022 の日本陸連公認コース)

6月 定例会 常任委員会 (県土整備農林水産委員会)

4月より経営企画委員会から県土整備農林水産委員会へ所属が変更となりました。

湾岸道路の整備について

〈八嶋〉一般国道415号線の4車線化事業により東富山周辺の利便性は向上したが、富山市四方荒屋～打出～射水市本江～七美～高岡市の区間を繋ぐ湾岸道路の早期整備が望まれるが状況は。

〈金谷道路課長〉当該区間の国道415号は道路の幅員が狭く、道路沿いには人家が密集しているため、バイパスによる整備が必要。中でも富山市打出から射水市七美までの区間(5km)は長い、区間を区切って進める予定。富山市四方荒屋から打出まで(1.7km)は現在整備を進めており、打出から県道小杉本江線まで(1.2km)は着手のための調査を進めている。

内川の漁港区域の利活用について

〈八嶋〉内川区域では、当局の不法係留船対策が断続的に行われ、令和3年6月には初の行政代執行も実行された。内川の漁港区域は波が穏やかで漁場にも近いことから漁業者にとっても利便性が高いだけでなく、観光資源でもあるが、今後の内川・漁港区域の利活用について所見は。

〈矢野水産漁港課長〉老朽化して沈没の恐れがあった不法係留船が行政代執行により撤去されて、漁業関係者からは安堵したとの声がある一方、川沿いに多くの漁船が係留してあることが独特の景観美をもたらしていたことから、漁船が並ぶ景観の復元を求める声も上がっている。また、新湊漁港の東地区に停泊させている漁船を台風や高波の影響が少ない内川へ移動させたいという意向も寄せられており、漁港区域の適切な管理は美しい景観の復元にも資することから、関係機関と調整を図りたい。



(出典：富山県ホームページ)

9月 定例会 常任委員会 (県土整備農林水産委員会)

歩行者・自転車の安全対策について

〈八嶋〉小学生や自転車を巻き込む事故が相次いでいるが、県管理道路内での歩行者・自転車の安全対策の取組は。

〈金谷道路課長〉平成24年の京都府亀岡市での事故、また令和3年の千葉県八街市での事故等を受け、市町村が主体となって関係者による合同点検を行い、県管理道路の要対策箇所について順次対策を進めている。なお、用地買収を伴うような比較的大規模の箇所については、国の交付金を積極的に活用して取り組む。比較的小規模ながらも事業効果が期待される箇所については、県単独事業として歩道設置、路肩の拡幅、転落防止柵の設置等を進め、安全性の向上を図りたい。

工業用水道管の設備更新について

〈八嶋〉令和3年5月に射水市作道地内で大規模な漏水事故が発生したが、その原因は老朽化した工業用水道管設備の損傷によるものであった。工業用水道管の整備更新に今後どのように取り組むか。

〈今井企業局長〉漏水時の被害が多くなると予想される主要な区間においては、更新工事の前倒しや優先更新区間の再検討、財政収支のシミュレーション等の検討を進めている。工事の前倒しによって工事発注に関する業務が増えることから、民間を活用した発注方法についても研究している。また、漏水の早期発見・補修や事故防止に繋げるためのIoT技術を活用した漏水探知システムの試験的運用(受水企業の多い富山新港周辺の10km区間に33個の超高感度振動センサーを設置)を9月補正予算案に盛り込んだ。今後は管路の適切管理のための施設台帳デジタル化やAIを活用した管路の劣化診断の導入についても検討を進めており、県西部の主要産業を支える工業用水道の安定供給に一層努力してまいりたい。

県産材の利用促進について

〈八嶋〉地元射水市にも、SDGsの取組の一環として環境負荷に配慮したバイオマス発電を推進している企業があるが、木材チップ製造に必要な間伐材がなかなか集まらないという声を聞く。県産材の一層の利用促進が必要と考えるが、現状と今後の取組は。

〈山下森林政策課長〉県産材利用促進条例に基づく基本計画に沿って生産コスト低減に取り組んだ結果、昨年1年間の県産材利用量は平成30年と比べ2割から3割程度増加している。一方で、燃料材全体の5割強を占めている県外からの調達分において間伐材の競合が生じ、入手しにくくなっていることから、当面の木材不足を緩和するため、9月補正予算案において県単独森林整備事業費の増額を盛り込んだ。今後もバイオマス利用の推進による県産材の需要拡大を図り、県産材の一層の利用促進に努める。

有機農業の推進について

〈八嶋〉令和3年5月に、国の「みどりの食料システム戦略」が策定されて、富山県でも一般の農家が有機農業への転換を図る農業者が増えることが予想される。国と連携してどのように取り組むか。

〈串田農業技術課長〉有機農業推進のため、県においてはこれまで流通のマッチング、有機 JAS 認証取得に対する支援、相談対応や人材育成等に取り組んできた。しかしながら、有機栽培には雑草防除に費やす多大な労力や価格が高くなることへの消費者理解が進んでいないこと等、一般栽培と異なる課題も多く、一般栽培から有機栽培への急な転換は困難である。そこで、化学合成農薬や化学肥料の使用を低減する「エコファーマー」への転換を推進することで有機農業への足掛かりにしたい。国の動向に留意しつつ、生産力向上と持続性を両立する本県農業の推進について引き続き検討する。

農福・林福・水福連携について

〈八嶋〉担い手不足解消や新たな労働力確保につながる取組として、農福・林福・水福連携を着実に進めることが重要と考えるが、これまでの状況と今後の取組は。

〈尾島団体指導検査班長〉国では令和元年6月に「農福連携等推進ビジョン」を策定し、農業・福祉双方の問題解決に繋がる取組として農福連携を推進しており、県では農福連携の周知を行う研修会の開催や農福連携コーディネーターによるマッチング支援に取り組んでいる。現在、農業分野での障がい者が行う作業は収穫物の調整が中心だが、林業や水産業の現場は傾斜地や海上等、特殊で危険な箇所が多く、作業内容が限られてしまう傾向にある。県としては、まず農業分野での福祉連携の取組を推進し、林業・水産業の分野への展開も検討してまいりたい。

県道富山高岡線（通称：旧8）の消雪装置の設置について

〈八嶋〉普段から慢性的に混雑傾向にある旧8において消雪装置の早期設置が重要な課題だが、とりわけ富山大学五福キャンパス付近の優先度が高いのではないかと。現在の検討状況は。

〈金谷道路課長〉五福キャンパス付近とのご指摘もあるが、呉羽山のりり坂付近を渋滞発生の重点地区と位置付け、現在地下水有無の調査を進めている。また同様に富山大橋の東側（安野屋～丸の内付近）でも調査を進めており、9月補正予算案では当該区間の水源の有無等、基礎調査にかかる費用を盛り込んでいる。交通事業者の意見も聞きながら、路面電車の軌道敷における散水方法や費用負担等についても検討を進めたい。



降雪時は特に渋滞が激しくなる旧8・富山大学五福キャンパス前

12月定例会 常任委員会（県土整備農林水産委員会）

農地の確保および有効利用について

〈八嶋〉これまで農地の「利用状況調査」と「荒廃農地調査」が別々に実施されてきたが、今年度よりそれらが統合され、調査の実施主体も農業委員会に一本化されたが、その背景や狙いは。

〈青山農業経営課長〉現場段階での負担軽減と調査の効率化を図るため、2つの調査を統合し調査主体も一本化した。また、遊休農地区分を3段階に細分化して調査内容を見直し、農地の一筆毎の状況把握が可能になった。より詳細な分析により、地域の状況に応じた解消目標の設定や、有効利用に向けた具体的な方策の検討に繋がると期待する。

〈八嶋〉今後、優良農地の確保や遊休農地の有効利用に、各農業委員会とどのように取り組むか。

〈青山農業経営課長〉本県では農業者の高齢化が進んでいるが、農業生産に必要な農地を営農に適した状態で確保し、遊休化を防ぐとともにその有効利用を図っていくことが重要。そのため、各種制度の適切な運用による優良農地の確保や各関係委員への支援を通じて遊休農地の解消に取り組む。また、今回見直された利用状況調査等の結果を活用し、遊休農地の発生防止や有効利用に取り組んでまいりたい。



視察&研鑽

自民党県議1期生で作る「令和の会」では、自主的な研修会の開催や各地の先進事例の視察活動を通して、県政の諸課題に取り組むための礎としています。また、常任委員会として所属している県土整備農林水産委員会でも、県内を中心に調査研究のための視察を精力的に行っています。

南砺市利賀村 (R3年4月6日・7日)

〈見学〉「まれびとの家（地域の木材×伝統×デジタルの融合）」～稀に訪れる人のために建てられた「現代の合掌造り」～

〈説明〉「TOGA 森の大学校」

持続的な林業について活動概要説明

〈視察〉来年からの利賀ダム本格着工に向け進捗確認



立山砂防 (R3年7月13日)

〈見学〉立山地区にある各砂防堰堤

〈目的〉自然と共生した堰堤や先人たちが築いてきた砂防技術の見学



富山市、魚津市、射水市 (R3年11月9日)



〈見学・目的〉富山市浜黒崎へ高波・侵食対策事業の見学・調査



〈見学・目的〉魚津市北鬼江「富山湾岸サイクリングコース」走行環境整備について自転車専用道路を視察



〈見学・目的〉射水市円池「こまつな菊ちゃんハウス」農福連携の取組について調査

やしまの県議会での質問・提言が新聞で取り上げられました！

- ◆「除雪契約 最低保証に」(3月17日付 北日本新聞)
- ◆「共同体の見通しを示せ」(3月17日付 富山新聞)
- ◆「シニア向けeスポーツ 県内で全国大会
～県 新年度 介護予防の一環～」(3月17日付 北日本新聞)
- ◆「水道漏水 センサー検知～新技術 射水の事故受け試験～」
(9月8日付 北日本新聞)
- ◆「今後の財政運営方針示せ」(9月15日付 北日本新聞)

- ◆「内川の冠水で対処必要」(9月15日付 富山新聞)
- ◆「新田県政1年の評価 県議アンケート
～八嶋浩久89点「安定した県政継承～」(11月30日付 北日本新聞)
- ◆「県予算『見える化』進めよ」(12月9日付 北日本新聞)
- ◆「新湊マリーナ誘客図れ」(12月9日付 富山新聞)
- ◆「記者席～米田氏の訃報に涙～」(12月9日付 富山新聞)

“新聞で
取り上げられた
その他の記事”

- ◆「新湊に新斎場完成
～火葬炉6基4月から利用～」(2月17日付 北日本新聞)
- ◆「射水の新斎場竣工 ～火葬燃料の灯油半減～」
(2月17日付 富山新聞)

- ◆「曳山御蔵完成祝う」
(4月25日付 北日本新聞)
- ◆「大型ヨット造りに協力
～豪男性支援クラブ発足～」
(7月24日付 富山新聞)

大型ヨット建造を支援

八嶋は、射水市堀岡明神新で大型ヨット造りをしているオーストラリア人のケビン・モクシーさんの活動に賛同し、彼を支援する団体「Salt&Light サポートクラブ」の会長に就任しました。令和3年7月23日、クラブの発足式が行われ、関係者約30名とともに建造の成功を祈りました。船は3年後に完成の予定で、富山湾での試験航海を経て、2026年にはオーストラリアへ船出することも検討されています。会ではまず広報活動に力を入れるため、資金100万円調達を目標にクラウドファンディングを行い、9月に見事成立しました。



やはり、八嶋家と船は深い縁があるようです。皆さんもケビンさんの活動に是非ご理解とご協力をお願いいたします。

数字で見る

やしま浩久の活動と軌跡

定例会での質問数
(一般質問)

15

(令和元年 27 令和2年 16)

定例会での発言数
(予算特別委員会)

36

(令和元年 0 令和2年 39)

常任委員会での発言数
(経営企画委員会)
(県土整備農林水産委員会)

21

(令和元年 18 令和2年 28)

特別委員会での発言数
(感染症等対策特別委員会)

0

(令和元年 2 令和2年 3)

やしま浩久の年齢
(R4.2.1 現在)

58

令和3年は未開催

やしま浩久の体重
(R4.2.1 現在)

±0

中身は豊かに、
身体はスリムに?!

寛政丸航海誌 episode -家業・八嶋倉庫の歴史-

かつて北前船の往来で栄えた新湊地域。やしま浩久の政治資金管理団体および本紙のタイトルにも使わせていただいた「寛政丸」とは、そんな北前船の主力船の一隻の名前で、同時に現在のやしま浩久の生業でもある八嶋倉庫のルーツとも言えます。

八嶋家古来の言い伝えによると、「寛政丸」は600石の船であり、今で言う10tトラック9～10台分の物量を積載し運搬していた船です。富山(新湊・放生津)からは鳥取(境港)へ向かうルートと北海道(函館・小樽・余市)へ向かうルートが運航されており、各地の寄港地で米や肥料、薬草、昆布等の海産物・加工品、布や織物等を積みながら、日本海側をくまなく行き来していたようです。

600石という大きな荷物を、陸路よりも遙かに不安定な海上で運んでいた、当時の船大工の造船技術や船

員達の航海技術の正確さには改めて感動させられるばかりですが、現在も寛政当時の思いはそのままに、お客様

の大切な荷物を預かり、運ぶ心構えは時代を越えて普遍的なものがあります。そんな寛政時代の先達に思いを馳せ、どんな荒波にも挫けずひたすら前進する覚悟を、「寛政丸」という名に込めました。「寛政丸」の航海が前途洋々たるものとなるよう、精いっぱい県政に邁進いたします。



寛政丸



県政報告は動画でも
ご覧いただけます!

やしま 浩久

〒934-0038 富山県射水市津幡江 738-1

TEL.0766-92-1613 FAX.0766-92-1633

ホームページ URL <https://yashima1613.jp>

E-mail yashima1613@gmail.com